

すべき方面を認むるもの多きか。

- (三) 神と人とを同形なりとする觀念如何。
 - (四) 兒童は通常如何なる種類の活動、景色等を想像するものなるか。
 - (五) 兒童は一般に創作的想像に富めるか、又は模倣的想像に富めるか。
- (六) 感情に付て)

- (一) 兒童が一般に賞讃する所の事項は如何。
- (二) 兒童が耻辱となす所の事項は如何。
- (三) 畏懼心に付て兒童が一般に有する傾向は如何。
- (四) 兒童の年齢と嫉妬心の發達との關係如何。又嫉妬ある場合に於ては之を起すべき事項は如何なるや。
- (五) 兒童は大なる期望を有するや否や。
- (六) 兒童に於ける虚誇心の有無、及びその虚誇をあらはすべき事實は如何。

- (七) 兒童の財産心の發達は如何なりや。
- (八) 兒童の美的感情は如何にしてあらはさるゝか。
- (九) 色彩、形態、詩歌の韻律等に關する兒童の撰擇は如何。
- (十) 美麗及び崇高の觀念を推知すべき事項。
- (十一) 滑稽に關する兒童の動作は如何。
- (十二) 如何なる兒童は一般に感情的にして、如何なる兒童は一般に理性的なりや。
- (十三) 卑劣及び大膽に關する兒童の感情は如何。
- (十四) 兒童の可憐心及び同情を認むべき事實は如何。
- (十五) 兒童の同情は、その起源を全く模倣的の舉動に歸すべきや、否や。
- (十六) 兒童は一般に朋友又は動物に對して殘酷なりや、否や。
- (十七) 兒童が有權者に對する畏敬心は如何。

(六) 有力なる懲罰法は如何。又兒童の懲罰に對する服従及び執拗の舉動は如何。

(九) 兒童の心界に於ける良心の活動は如何。

(十) 兒童の愛國心は如何にしてあらはるゝや。

(十一) 郷土を愛するの情は、如何なる風土山川の情勢の處に於て盛なるか。

(十二) 最も強き動機となるべきものは、如何なるものなるか。

(十三) 最も多く虚欺するに至らしむべき動機は如何。

(十四) 宗教的感情を推測するに足るべき事項は如何。

(七) 意志に付て

(一) 執拗及び抗命の場合に於て、あらはるべき意志の活動。

(二) 兒童は命令の外、他に理由なくして、之に服従するや否や。

(三) 躊躇及び自制の活動。

(四) 兒童の忍耐力は如何。又その年齢に應じて發達するの程度如何。

(五) 兒童が同輩を支配するの勢力は如何。

(八) 表出法に付て

(一) 談話の場合に於て、音に如何なる省略をなすか。

(二) ある言語又は文章を筆記するに當りて、如何なる誤謬をなすか。

(三) 談話の際、顔面及び態度の表出を用ゆるや否や。

(四) 談話及び記載に用ゆる言語の正確及び誤謬。

(五) 兒童は如何なる方面の表出法に巧みなるか。

(九) 兒童一般に付て注意すべき點

(一) 男女の生徒を共に教育する場合に於て、著るしき兩者の特質及び異同は如何。

(二) 一個人のみを時に教育する場合に於ては、發達し得るも多數の生徒と

共に教授せらるゝときは發達せざる兒童の特質

(三) ある一個の生徒の成績の上の變化と年齢との關係。

(四) ある學校全躰又は學級の成績が「リズム」的(調節的)變化をなすことなき

か。例へば春は一般に成績良好にして、夏は一般に成績不良なるの類。

以上に記述したる所のものは、固より重要なものゝみに止まり、他になほ種々の注意すべき點少しとせず。これらの觀察によりて蒐集せる事實を湊合し之によりて得らるべき結論を發見し、更らにかゝる經驗的知識を以て根據となして推論を作るに至らば、皆に心理學の上に大なる裨益を與へ得るのみならず、教育上少なからざる効益をなし得ること疑を容れざる所なり。今や教育學の心理的基礎は、未だ十分に強固なる組織をなせるものにあらざることば、往々學者間に唱道せらるゝ所なり。かゝる時に當りて、これらの心理的觀察をなして、大に心理學の材料を供給することを得ば、教育の

心理的根據も、亦これによりて究明せらるゝもの多かるべしと信ず。

結論

兒童心理の研究は、精神作用の發達する順序を明かにするものなるを以て、教育上直接に利益を與ふること少なからざるのみならず、心理學上學理の探究を助くるものなり。抑、兒童に就ては、學者によりて種々見解を異にし、從て兒童を種々のものと比較せり。今試みにその重なるものを擧ぐれば、左の如し。

(一) 兒童は野蠻人に似たり。

(二) 兒童は婦女子に等し。

(三) 兒童は老人に同じ。

(四) 兒童は天才ある人に似たり。

- (五) 兒童は暗愚なる人の如し。
(六) 兒童は罪人に同じ。
(七) 兒童は人類一般と同様に發達す。

以上掲げたる比較は、屢、吾人が聞く所なりとす。而して兒童と野蠻人と相似たる點は頗る多し。學者の研究せる結果に従へば、(一)感情に關して同様なる性質を有す。例へば恐怖憤怒又は耻辱等の如き感情の發動及び經過の狀態等に於て相似たる點多し。(二)心的作用の上よりして之を觀察するも、亦類似の點少なからざるを見る。例へば野蠻人及び兒童の推理作用は、所謂類似のものよりして推理する所の同似的推論法即ち、アナロジー(Analogy)を用ゆること多く、又その立論及び論理の如きは論據となるべき材料に關する撰擇は、割合に不注意にして、むしろ之に由て生じ來れる結論に注意すること多しとす。(三)未開の人民の音樂と兒童の音樂とは甚だ相似たる所あり。その音

律、律呂、節調等が開化せる人民の音樂に比すれば、頗る簡單にして美妙なる調音をなせりと云ふべからざるも、能く彼等を満足せしむるものあるを見る。(四)野蠻人及び兒童は、共に催眠術を行ふ上に於ては、同様なる性質を有するものにして、いづれも之を他のものに比すれば、催眠せしめ易しと云ふ。(五)摸倣はすべて如何なることにてても、之を習得する上に於て、甚だ必要なることにして、摸倣の力に富める者は、他の摸範によりて直ちに之を摸擬し、遂に練習を経て熟達するを得るものなり。而して未開人及び兒童は、この點に關しては、共に摸倣力に富むこと非常なるものあり。實に兒童が自ら活動するに至りて後、次第に心的發達を爲すに當りて、如何に兒童の摸倣力が、その進歩を助くるものなるかは、吾人の想像すべからざるものありと謂ふべし。(六)遊戯及び娛樂に就て考るに、未開人種と兒童とは、大にその趣きを同ふするものあることは、社會學者及び人類學者の報告によりて明かなる所にして、

屢、吾人が見聞するを得ることは、人の能く知る所なり。(七) 動植物及び金石に對する觀念、偶像に對する觀念、無生物を有生物の如く思惟すること、玩具を弄することに就ても、野蠻人と兒童とは甚だ相似たる觀念を有すること多しとす。(八) 言語の上よりして野蠻人と兒童とを考察するに、一般に相類似せる傾向の存するものあるを認め得べし凡そ言語は思想を他のものに云ひおらはすべき方便となるものなれども、主格及び賓格の位置、動詞、形容詞、副詞等の用法、敘述の明瞭等に關して、開化人と未開人との間に差別あるのみならず、大人と兒童との間にも著るしき差異あるを見る。而して野蠻人と兒童との言語は、その間に相似たる點多きことを發見するなり。(九) 未開人と兒童とは共に頗る想像力に富み、時に或はその想像作用の強きが爲めに極端に走りて眞實なるを失ひ、全く架空に傾くことあるを免れざることあり。殊に自己が嫌惡せる人物等に對して、その惡むべき方面に偏して妄りに想像

を廻らし、遂には全然事實と相異なれる極端の點に達して之を惡むが如きことあり。(十) 兒童がその無邪氣なる生活を營みつゝある間に於て、社會上の法則は、次第に兒童の間に發達するものなり。例へば兒童個人の所有權に關する觀念、又は社會的思想の興起、法則、正義及び責罰に關する觀念等の如き、自ら兒童の間に發達し來る。之を未開社會の法則制度等に比較するに、その發達の上に於て類似したる點あるを認め得るのみならず、法則制度そのものも亦相似たる點少なからざるなり。上來述ぶるが如くなるを以て、兒童は未開人と頗る類似せる點多きが故に、人類社會が未開の情態より半開化の情態に移り、遂に開化の有様に到達すると同じく、個人の生活に於ても兒童の時代は未開の時代にして、之より進んで教育を受け、漸々思想の高尙なる程度に至るものなりと云ふを得るなり。而して兒童と他のものとを比較するが如きは、固より或る特殊よりして之を觀察するとき、各幾分か眞理を

包含するものなること勿論にして、児童の心性と雖ども蓋し複雑なるものなれば、獨り一方に偏して之を論ずるときは、反つて誤謬に陥るを免れず。されば吾人が児童を研究せんと欲せば、つとめて公平なる心を以て之を取扱はざるべからず。今試みに児童を研究する上に於て、特に注意すべき點を擧ぐれば。

- (一) 遺傳的特性。
 - (二) 物質的環象が心の發達に及ぼす所の影響。
 - (三) 社會的環象と心の發達。
 - (四) 児童の心の構造。
 - (五) 男女児童の間に存する心的發達の差異。
- 等なり。教育上にては、利又は不利なる児童の天然の原始的傾向を研究し、正當なる傾向を獎勵し、不可なる所の傾向を制抑するを要す。而して教育は全

く外部より機械的に行はるべきものにあらざして、一方にありては、教育者の努力匪勉するものあり。他方にありては、児童自身の活動力ありて、茲に眞正の教育たるものが行はるゝなり。されば児童を研究して、こゝに教育の心理的根底を置かんとするは、何人と雖ども首肯せざるを得ざるなり。吾人は如何なる條件の下に、如何なる方法によりて、最も容易に心意を開發誘導して、完全圓滿なる人物を作り得べきものなるか。一言を以て之を云へば、最も容易に人性を變化し得る所の條件、及び方法を放究するを要するなり。これらば児童の研究と直接に關係せるものにして、從來未だ十分に攻究せられざるところなれば、殊に吾人が意を用ひて熱心に且つ誠實に、このことに從事するの必要あり、且つ甚だ興味深きところなりと信ず。况んや我が國の児童に就て、かゝる種類の研究をなすが如きは、實に目下の急務にして、將來に於ける日本帝國の繼續者として、必要なる児童を教育する上に於て、一日も

輕々に看過すべからざることにあらずや。果して然らば如何なる點に就て
攻究すべきか、これ必然起るべきの問題なるべし。而してこの重要な問題
に對しては、學者の意見は固より一様なる能はざるべしと雖ども、余の見る
所を以てすれば、左に擧ぐるが如きは、その重なるものなること疑を容れ
ざるなり。即ち

- (一) 年齢の増加するに従て、諸般の心的作用が發達する順序及びその経過。
- (二) 如何なる心的作用は早く發達し、又如何なる心的作用は遅く發達するものなるか。
- (三) 年齢の増加によりて自然に開發誘導せられたる事項。
- (四) 教育によりて開發誘導せられたる事項。
- (五) 讀書習字及び記憶等に關する自然的方法。
- (六) 學校生活をなす所の兒童の腦力疲勞に關する事項、疲勞の原因及び回復に就て。

復に就て。

- (七) 想像及び推理作用に關する兒童の特異の傾向。
 - (八) 美的感情の發達。
 - (九) 道徳的感情の發達。
 - (十) 年齢によりて男女兩性間に存する發達の差異。
 - (十一) 人種の異なるに従ひ、發達の上起る所の異同。
 - (十二) 境遇を異にするが爲に生ずる發達上の差異。
- 等是なりとす。

抑、吾人人間にとりては、兒童の如く貴重すべきものなかるべし。昔羅馬に於
て有名なる賢女「コルネリア」は、嘗て金玉粲然たる美裝をなして得々たる婦
人が、意氣豪然として、その寶玉を誇示せるに遭遇せしに、「コルネリア」は反つ
てその兒童を示して、之を以て無上の寶玉なりと答へたり。思ふに兒童は何

人にも一般に賦與せらるゝものにして、所謂天恵と稱せらるゝものゝ中にありても、殊に平等的なるものと謂つべし。然れども児童をして社會に有用なる徳義ある士女たらしめんとするの教育及び修養に至りては、往々世人の誤解する所にして、注意深き實際的教育の結果を得たるもの甚だ少しとす。これ實に貴重なる児童をして、完全なる發達をなさしむること能はざるに起因するなり、豈に遺憾ならずや。此の如きは畢竟児童そのものに關する知識少なきに由ること多しと思はるゝなり。

夫れ兒童の發達は、身軀上の發育と平行して心的作用の進歩を見るものなれば、この兩者は相待て児童をして一個人たる發達をなさしむるなり。是の故に身心の發達に、二つながら必らず輕忽に附すべからざるなり。而して我が國に於ては、この種の研究は未だ十分信憑すべきものなきが故に、西洋の學者が攻究せる結果を借りて參考となさしむるを得ず。今腦髓の發達に關し

て、ヴィロルト氏 (Virordt) の研究したる結果を左に表出すべし。

男 子		
年 齡	検査人員	腦 髓 ノ 重 量
新 生 兒	36	381 グラム
1 年	17	945
2	27	1025
3	19	1108
4	19	1330
5	16	1263
6	10	1359
7	14	1348
8	4	1377
9	3	1425
10	8	1408
11	7	1360
12	5	1416
13	8	1487
14	12	1289
15	3	1490
16	7	1435
17	15	1409
18	18	1421
19	21	1397
20	14	1445
21	29	1412
22	26	1348
23	22	1397
24	30	1424
25	25	1431
検査總數	415	

女 子		
年 齢	検査員人	腦 髓ノ重量
新 生 兒 年	38	384 グラム
1	11	872
2	28	961
3	23	1040
4	13	1139
5	19	1221
6	10	1265-
7	8	1296
8	9	1150
9	1	1243
10	4	1284
11	1	1238
12	2	1245
13	3	1256
14	5	1345
15	8	1238
16	15	1273
17	18	1237
18	21	1325
19	15	1234
20	33	1228
21	31	1320
22	16	1283
23	26	1278
24	33	1249
25	33	1224
査 検 總 數	424	

されば、フィールナルト氏に従へば、男子は十三歳及び十五歳に於て、最も重

き、腦重を有し、女子は十四歳に於て、最も重き腦重を有することを見る。ある學者の説によれば、成熟期以後に於ては、なほ教育されつゝあるものゝ腦重と、然らざるものゝ腦重には、異なる所ありて、高等なる教育を受けつゝあるものは、成熟期以後に、なほその腦重を幾分か増加せしむることを得るとなせり。

日本に於ける兒童の頭圍、身長及び軀重等に関しては、エ、ベルツ氏及び三輪徳寛氏の研究あり。近くは三島通良氏の學校兒童發育取調報告ありて、吾人に参考の資料となること多し。而してこれら研究の結果と歐洲人の發育とを比較するときは、人種上の差異は如何に身體の發育に關係するものなるやを明かにするを得べきなり。今三島通良氏の報告によりて、頭圍、身長及び軀重に付て表出すべし。

●結
論

女子			年 齡	男子			年 齡
最 小	最 大	平 均		最 小	最 大	平 均	
86.3	112.0	101.6	6	86.0	113.5	101.4	6
96.5	127.5	104.6	7	92.0	121.0	108.0	7
100.0	124.7	112.0	8	100.0	122.5	111.6	8
92.0	128.5	115.5	9	103.7	132.3	117.6	9
114.0	130.5	120.7	10	113.0	133.7	121.9	10
106.5	141.0	125.1	11	102.0	140.7	126.0	11
106.5	141.0	130.6	12	115.5	141.0	129.4	12
124.0	147.0	136.1	13	123.5	155.0	134.3	13
117.3	154.0	139.9	14	126.5	160.0	139.8	14
133.0	151.7	142.1	15	128.0	155.5	142.7	15

兒童身長表

女子			年 齡	男子			年 齡
最 小	最 大	平 均		最 小	最 大	平 均	
47.0	52.5	49.7	6	47.0	53.0	50.2	6
47.7	53.0	49.9	7	47.0	53.5	50.6	7
42.0	55.5	50.1	8	48.0	54.0	50.9	8
46.0	53.0	50.4	9	48.0	54.0	51.1	9
49.0	54.0	51.4	10	40.0	54.7	51.6	10
49.0	54.5	51.5	11	49.0	54.0	51.9	11
49.0	55.0	52.1	12	49.0	54.0	52.0	12
48.0	58.5	52.8	13	49.5	56.0	52.5	13
48.0	56.5	53.2	14	49.0	59.0	53.0	14
49.5	57.0	53.6	15	50.5	56.5	53.2	15

兒童頭圍表

●結
論

兒童體重表

年 齡	男 子			年 齡	女 子		
	最 小	最 大	平 均		最 小	最 大	平 均
6	12.9	21.0	15.9	6	12.1	18.9	15.4
7	13.1	22.8	17.7	7	12.6	21.5	16.7
8	16.1	27.3	19.2	8	13.4	28.8	18.4
9	15.2	27.5	20.9	9	14.8	25.4	20.3
10	12.5	30.7	23.2	10	18.4	27.3	22.2
11	18.7	30.9	24.9	11	16.8	37.1	24.4
12	19.7	33.9	26.6	12	20.2	38.4	26.7
13	22.3	46.8	28.9	13	21.8	42.7	31.0
14	23.3	56.5	33.1	14	22.9	51.5	33.8
15	26.3	46.8	35.2	15	28.6	52.9	36.3

身體上の發育は、以上に叙述せるが如くにして、心的作用の發達に付ては、既に本論中に説明したるが如く、胎兒時代は、恐らくは漠然たる意識を有し、そ

の後母胎を離るゝに至りて、新生兒の時代は、すべての感覺も、最初は明確に感ぜらるゝことなく、視覺及び聽覺の如き有用なる感覺も、經驗を経て發達し、意志的活動のあらはるゝにも亦多少の時日を経過せざるを得ざるべし。彼の視覺及び聽覺等が、次第に發達し來るや、吾人は幼兒を樂しましむるの目的を、以て風車、でんぐし、太鼓、笛等の玩具を用ひ、幼兒の耳目に訴へて之を喜ばしめんとするに至る。このことたる當に一時幼兒の娛樂たるのみならず、なほ感官を働かしむるの練習となるものなり。而して幼兒の筋肉の運動が發達し來りて、稍自由なるものとなるに及んで、通常世人は「手打く」「オツムテンく」「カイグリく」「ト、ノメ」等の遊戯をなさしむ。これ自ら意志的運動の練習となるべきなり。その後知的作用も漸次に發達し、身體の運動も全く自由となるに従ひて、諸般の玩具及び遊戯を利用し、兒童の娛樂を得ると共に、漸々兒童の觀念界をつくるものなり。幼兒が學校教育を受くる以前に於

て、その觀念界を構成することに關しては、余はかゝる玩具及び遊戯が頗る
興つて力あるものなることを信ずるなり。馬琴は嘗て夢想兵衛胡蝶物語の
中に少年國なる一篇を置きて、自家の意見を述べたり。今その一節を左に引
用すべし。曰く

「むかし子どもに、なぞく／＼をかけて、どかせたるは、その才のすゝまん爲な
り。又小むすめに、あやをとらするは、織物に巧ならん爲なり。又貝あわせ、歌
がるた、くだりて、目つけ繪などいふ遊びをさするも、眼力をよくせん爲な
れど。」云々

と。兎に角、玩具及び遊戯が幼兒の觀念界に及ぼす所の勢力は、決して僅少に
あらざるべし。余は試みに兒童の觀念界を左の如く分ちて、これらに關する
玩具を調査したるに、殆んど通常吾人の生活に要用なるものゝ多くは、摸倣
的に作成せられて存するものなるを知れり。

- (一) 動物界。
- (二) 植物界。
- (三) 礦物界。
- (四) 家具類。
- (五) 文房具。
- (六) 運搬具。
- (七) 兵器。
- (八) 樂器。
- (九) 人物。
- (十) 雜類。

而して更に繪畫によりて如何なるものが、兒童の眼に觸るゝものなるやを
調査したり。その二三を列擧して、參照に供すべし。

(玩具類)

だるま、まり、はるごま、さんばそう、きつねのめん、きぼし、まゝだいこ、すゝがら
りん、かぶと、こま、だいら、まねきねこ、ぐんくわん、きつね、たい、まゝめん、ふき、ま
ま、つち、さあべる、みゝつく、だし、らつば、かばん、おしどり、うま、犬はりこ、てつ
ぼう、はこのぼりだい、ぼうし、こつぶ、さかつき、からこ、おしやぶり、ちやうちや
う、さかな、

(三十一)

(人物に關するもの)

おくさま、おひめさま、かん女、おくげさま、おきさま、茶屋女、げいしや、おい
らん、かむろ、しんぞう、だんなさん、おじいさん、むすこ、おかど、おかみさん、おば
あさん、こぞうさん、

(十八)

(花木類)

ぼたん、ふぢ、けし、すいばな、もみぢ、きりぎりす、あもぎ、はす、かいどう、しだれうめ、
せきせう、山ぶき、すいせん、さくら、草ばら、さく、ふく、壽そう、あざみ、ちやうしゆ
ん、ききやう、夕がほ、あさがほ、なでまこ、まうかいどう、まやくやく、あざさい、は
ぎ、けいどう、てんじく、ぼたん、らん、つばき、つゝじ、ひあふぎ、まつ、あをい、まゆら
ちく、はらん、ふやう、あやめ、なんてん、もゝ、うめ、まんりやう、さぼてん、ゆり、さく
ら

(四十六)

(鳥類)

たか、からす、ふくろ、にはどり、あそがも、さき、うつら、さぼと、つばめ、をし鳥、千鳥、
あし、うぐひす、すゝめ、のきこ、まぎ、うてう、たんちやう、とび、がん、ぶらま、をしむ、

かわせみ、なべつる、ほととぎす、みづく、ごいさぎ、あひる、よしきり、(二十九)

(獸類)

猿、猴、羊、犬、狼、木鼠、豕、猿、馬、狸、熊、獅子、鼬、貉、豹、土龍、兔、狗、牛、猫、猪、鼠、象、鹿、狐、虎、(二十五)

(野菜類)

大根、かぶ、みつば、はす、ごぼう、にんじん、ねぎ、せり、うど、わらび、ながいも、せうが、さつまいも、さといも、とうのいも、八つがしら、つくいも、茗ねん、茗やう、くわゐ、ふきのと、ゆり、まつだけ、志ろ、うり、なす、からす、うり、むかご、めうがの子、みのぼし、ひね、せうが、小まつな、つけな、わけぎ、せうろ、ふき、とうがらし、なたまめ、ほそね、とうなす、茗んぎく、だひく、いんげん、みかん、さやえん、とう、きうり、茗ん、えん、とう、びわ、りんご、なし、すいくわ、れいし、茗いたけ、はつだけ、まくわうり、にん

にん、かき、くり、茗ゆん、さい、茗ろ、うり、たけのこと、も、ふち豆、十六さ、くげ、とうが、ん、きん、とうが、ん、茗だまめ、あをのり、きのこ、ゆず、わさび、(六十八)

(魚類)

茗をふき鯛、あんこふ、とびの魚、茗ま鯛、いか、いな、かさご、そうだ、かつほ、すがい、くものすい、かい、たら、めだい、あこぜ、ばか、かれい、あかふ、ほうぼ、う、いたらがい、さい、い、むつ、茗こ、たい、さ、はら、さつば、あじ、あなご、ふぐ、いなだ、この茗ろ、たちの魚、はまぐり、かき、いわし、このはかれ、かに、ひらめ、こち、さめ、うどい、あさり、かつを、くらげ、あはび、かゝみ鯛、あま鯛、あかゑ、あかゝゑ、すゝき、だつ、ほたて、が、い、たこ、なまこ、くろ鯛、(五十四)

(家具類)

あんどん、らんぶ、みつぐみ、はいちやう、茶だんす、かさ、ほうき、はたき、おはち、せん、志やく志、茶ほうじ、はいせん、ちよく、茶わん、わん、ひろぼん、ぼん、茶ぼん、どんぶり、さら、はま、まないた、ほうちやう、ぼんぼり、かつをぶ志、かん、な、ちやうちん、どびん、てつびん、やかん、かなあみ、こどく、ながひばち、ひばち、びば志、炭どり、灰ふるい、茶だい、茶たく、茶いれ、こぼしかま、かまど、茶がま、かま志、なべ、かめ、かたて、手あけ、こめとぎあけ、おらいま志あけ、たわし、ぞうきんあけ、なが志、ひ志やく、火ふき竹、ざる、たらい、すり鉢、すりこぎ、勝手ほうき、金だらい、ふみだい、ちりとり、ごみどり、米びつ、たる、灰なら志、かたく、ち、うちわ、ます、ちりいんげ、かはむき、わさび、おろ志、こうぞんぼ、うき、おはち入、火け志、つぼ、ろうそく、たて、

以上(七十八)

此の如く、社會上の感化及び玩具遊戯等によりて觀念界を構成せられたる兒童が、進んで學校教育を受くることとなるなり。兒童心理學に於ては、これ

らの時期を追ふて兒童の心的發達を攻究するを要するなり。而して兒童が青年の時期に至るまで、教育の爲めに受くる所の影響は、頗る大なるものあることは、更に茲に喋々するを要せずして、明かなりとす。

上來述ぶるが如くなるを以て、吾人は兒童心理學の研究によりて得らるべき事項を概括すれば、大略下の如くなるべし。(一)兒童の心的作用の發達を明かにし、之に基づきて教育上の根據を決定し得ること。(二)兒童心理を明かにするによりて、心理學の研究に補助を與へ得ること。(三)兒童自身の爲めに實際適用せらるべき便益なる教授及び管理の方法を發見し得るに至ること等なるべし。余は學校衛生に於て、身躰上の健全を保護すると共に、兒童心理の研究によりて、兒童の精神上健全なる發達をなすに至らんことを期望するものなり。

兒童心理學講義畢

明治三十一年三月十三日印刷
同三十一年三月廿一日發行

兒童心理學與附

定價金六拾錢

著者

松本孝次郎

發行者

大草常章

東京市日本橋區桶町壹丁目壹番地

印刷者

山本鉄次郎

全 市京橋區西紺屋町廿六七番地

印刷所

全 株式會社 秀英舍



發行元

東京市日本橋區
桶町壹丁目壹番地

松榮堂書店

●大田保一郎先生述

新撰教育學

●洋裝美本全壹冊
●正價金三拾五錢
●郵税金六錢

右は多年教育の實際に従事せられたる太田先生が佐賀縣教員講習會等にて講せられたるへるばると主義教育學の講案に深遠なる學識と考熟せる經驗とに基きて今回痛く増訂を加へられたるものにて嚴正摯實明快に教育の全般を説明し初學者をして成るべく速に教育の理論と實際とに通曉せしめんことを目的とし難解若くは新奇の學語には注釋を施し又參照として章節の間に釋尊孔老を始めとし東洋賢哲の教育説は細大漏さす之を附記せられたれば讀者をして興味津々として卷を釋くこと能はざるの想あらしむ本書は前述の如く實驗上の結果にして架空推想の構成物にあらざれば師範學校及び其の他速成科教員驗定受験者講習會用書として特に適切なるを覺ゆ然とも此書の眞價は能く讀む者之を證せんのみ取て費せず

●成富正義先生譯補

主 義教育學

- 洋裝美本全壹冊
- 正價金五拾錢
- 郵税金八錢

今日教育社會ヘルバルトの聲高し是近代世界教育學者の泰斗なればなり高等師範學校より地方到る所の講習會苟も教育を講ずる者はヘルバルト流義の書に依らざるはなし然るに未だ以てへるばるとの精神を學ぶべき良書
なし是れ弊堂が此學に最精通せる **成富先生** に請ふて本書を公にするに至りし所以也本書は上編に於て教育目的學を述べ之を倫理學上より論決し下編に於て教育方法學を述べ之を心理學上より論定し以て完全に科學的教育學を説きたる者なれば尋常師範學校及教員檢定試験又は講習會等の用書に適當なるは勿論苟もヘルバルト主義の教育學を研究せんと欲する諸君は先此書に依らるべし

●修文館編纂 (訂正三版)

新撰 皇國史

和裝美本全二冊 ● 正價金六拾五錢 ● 郵税金八錢
本書は教育家數名の研究に成り國體と皇室とを本據とし動すべからざる組織を立てたるものなり程度行文等に至りては更に實地の試験を経て一點の非難なきまでに訂正せり机上杜撰の書と同論に非ざるは識眼者必ず之を認めむ願くは普く諸學校教科書に御採用あらむことを附言本書は既に二十餘縣の中學校師範學校高等女學校の教科書に御採用の榮を蒙り候也

●小林弘貞先生著

中等 教科 帝國史綱

和裝美本全二冊 ● 正價金六拾錢 ● 郵税金八錢
本書は著者が多年講究實驗の上現今の中等教育に於ける初年級の國史教科書に適合せしめんとて程度時間に應じて加除修正を施したれば尋常中學校一二年級に恰當するは固より尋常師範學校高等女學校及小學校教員講習科等の用書にも適應せる良書なり

●岡田辰次郎先生合著 (熊田子之四郎先生)

中學 日本歷史

洋裝美本全二冊 ● 正價金八拾錢 ● 郵税金拾六錢
斯書は總者支那歷史を著して有名なる岡田熊田兩先生の編纂に係りたるものにて兩先生夙に中等の教科に適用すべき國史の良書に乏しきを憂へこれが編纂を企する所あり殊に現今尋常中學に於ける科程は前文部大臣の規定せられたる所によれば從來の方針と其の趣を異にし國史の教科書も亦多少の變更を要すき所あり斯書は則その規定に本き時間の配合と學生の腦力を精査し且之を實際に試みて編纂せられたるものなれば簡にして要を得約にして旨に適するこを恐くは他にその比を見ざる所ならん又その體裁と記事の如きに至りては兩先生多年の研究に成りたる結果なれば決して普通の教科用書と同一視すべき所にあらず故に斯書を一讀せばわが國體の他邦に比類なき所以及わが同胞の祖先が三千年間萬世一系の 皇統を戴きていかなる生活をなしかを明かにし得べし冀くは江湖の君子一本を購うて机邊の友とせられよその得る所決して鮮少にあらずべし

●修文館編纂

新撰 東洋史

洋裝美本全一冊 ● 正價金七拾錢 ● 郵税金拾錢

本書は尋常中學校、師範學校、高等女學校及これと程度を同じくする諸學校の教科用書に充てむが爲め編述せるものにて組織材料文章紙數等には極めて注意を加へこれを京地及び三地方の實地教育者に呈し再三の訂正を請ひ得て出版したる書なれば頗る周到懇切にして能く教育上の主義に協ひ此くの如き東洋史の教科書は我國未嘗て他に其類を見ざる所なり實にこれ今日進取澎張的の日本國民の教科書には最も適當なるの書なりと謂ふ可し中等教科用は勿論一般の讀書に向ても亦十分の價値あり大方の君子續々購求あらんことを伏して希望する所なり

●岡田辰次郎先生合著 (訂正) 熊田子之四郎先生 (三版)

中等 教育 支那歷史

洋裝脊皮全一冊 ● 正價金七拾錢 ● 郵税金拾錢

此書は永く文科大學に在て東西の史學を究められたる岡田、熊田兩先生の著述にして岡田先生夙に中等教科に適用すべき支那歷史の良書に乏しきを慨し拾く之を當局者に諮詢し審に其適否を講究して以て此書を著さるに際し鑿々採用の榮を蒙るに至れり依て今回更に訂正三版大に面目を改めたり此書事實を序する最も簡明にして制度學術風俗宗教の要に至るまで一見初學者に氷解し易からしむ且つ今回更に鮮明なる沿革地圖十餘枚を挿入して治亂興廢の跡を詳にせしむるが如き他に其匹敵を見ざる所なり大方の君子一本を購求して其適否を判せば鑿館の幸榮之に過ぎざるなり

松榮堂書店出版圖書目錄

●木村鷹太郎先生新著

西洋小史

洋裝美本全壹冊●正價金八拾錢●郵税金拾二錢

本書は中等教育を旨とするものにして歴史を教ふるに同時に着く人をして人事悟る所あらしめ又憤起せしむるを目的とし記事は凡て簡明を主とし徒に不急無用の地名人名年月及び重要ならざる些細の事變を以て學ぶ者煩はす如きもなく又同時に乾燥無味にして精神なく活氣なきを避けたり其文章の雄健簡明なることは世の既に認むる所記事は必ず興味を帶ぶ故に單に歴史教科書として見るに止まらず又以て歴史讀本となすを得べく歴史に兼ぬるに文學上の價値を有するの書なり插畫は精巧無比にして殊に彫刻家の丹精を凝らしたるもの數十古今の美術沿革畫より歴史上重要な事物風俗等の畫を始め古今の大人物の肖像等を網羅せり地圖も亦着色精密なる沿革的のもの十數あり要するに本書は教育的なり故に歴史を教ふるに共に優美高尚偉大なる情操を養成するを目的とし又國家國民人種等の觀念を興へ以て顧みて日本國民の自覺心を強からしめんとの見識あるものなり學校教科書としては勿論家に在りての讀本として十分の價値あることは言はずして明なるべしと信ず請ふ江湖の士君子幸に御購讀あらんことを

●木村鷹太郎先生著(增訂二版)

萬國史

洋裝美本全一冊●正價金壹圓拾錢●郵税金拾圓

●本書は教育的、活動的、精神的なり
●全編氣力と精神とを有す
●美術圖數十あり、以て雄大優美の情操を養ふ可し
●地圖十數葉皆着色なり、從來のものとは異にして沿革的なり
●興味多方、話しあり、詩歌あり論說あり
●地名人名は時と處とに應せる真正の名稱を用ゆ
●近代史日本の部及び結論は實に一種の異彩あり
●其他本書の特色一々贅せず江湖の士君子一讀して眞價の評定あらんことを懇願に堪えず敬白

松榮堂書店出版圖書目錄

●理學士大森千藏先生著

新編動物學教科書

洋裝美本全一冊●正價金八十錢●郵税金十貳錢

中等教科用の目的にて編纂せる動物學書多しと雖も其編快過大に失するか否らされは簡易に過ぎ一も今日の中等教育に適用すべきものなし著者茲に慨するところあり今や多年實地授業の経験に基ひて此書をなせり故に本書は特り繁簡其中を得たるのみならず書中には専ら普通緊要なる事項を主として順序正しく之れを記述し務めて其枝葉の説明を避け圖畫の如きも簡にして解し易きもののみを擇へり又其順序は先づ高等動物より説起して次第に下等なる動物に論及し日常親近せる事物より疎遠なる事實に及ぼす一に知識開發の順序に従へり是れ本書の尤も主眼とするところなり

●理學士大森千藏先生纂譯

實用動物

洋裝美本全壹冊●正價金六十五錢●郵税金八錢

世に動物學の著書多しと雖も多くは教科書の類にして讀者をして此學の乾燥無味を感せしむるか然らざれば徒らに高尚なる理論に亘り世人をして却つて此學の迂遠なるを想はしむるに至れり何ぞ計らん吾人の衣食住は半ば動物界の供給を仰げるものにして其實用の偉大なる遙かに他の學科の上に出たり大體は動物上専ら應用的の知識を興ふるが爲めに講述せるものにして順序正しく且つ簡明に一般動物性物質の出身性質を明にし世人をして普く這般の知識を習得せしめんことを計れり故に彼の工藝技術家若くは此種の商業家にして一度此書を讀みば其得るべきところ必ず大なるべく又彼の中學師範學校及び教員諸君の參考用書として亦たこれ必須欠くべからざる良書なりと信ず

●東京數學會編纂

新編算術教科書

洋裝美本全貳冊●正價金壹圓●郵税金拾六錢
方今中等教育の教科書として發行せらるる算術書の數多しと雖もその弊は概して高尚過大なるにあり中學校令改正以來高等小學校二年を終りて直に入學し來れるが如き程度の學生に向ひては其不適當なるや言を待たず本書は専ら其の邊の程度を計りて編纂せられたるものにて善く算術の要領を得て叙次井然頗教科用書の體を得たるものゝ如し若夫語法の正確にして理學の書に背かざるが如きは敢て喋々を要せず實に近世無比の良書なり

●學習院教官總川猪之吉先生編

新撰算術五千題

洋裝全一冊●正價金六拾錢●郵税金拾錢
此書は如何にして問題の解法を考ふべきか云ふことを大綱より小目に涉り幾多の例題に就きて反復丁寧に説明し又重要な定義定理を蒐めて之に簡明の説明を加へ更に重要な問題一百餘題を撰ひ一々之に解式を附し尙此間に挿むに幾干の問題を以てしたるものなり故に此書を十分に玩味するときは算術の力を養ふに於て殆遺憾なく

●總川猪之吉先生編

高等新編算術

全四冊●正價一冊三付金拾二錢●郵税金八錢
此書は第一に最も精密に問題の順序を整頓し以て學生の行路をして平々坦々知らず識らず遠きに至るを得べからしめ第二に問題の數理的體裁を種々に變化し以て數理の應用を十分ならしめ第三に問題の材料を博く諸般の事實に取り以て數を學ぶと同時に日常必須の知識を得べからしめたり凡此等は此書の最力を用ゐたる所にして是れ即從來世に行はれたる他の教科用書と大に其撰を異にせる所以ならん

●小林茂理先生編纂

尋常小學算術教授細目

中本全五冊●一三四各正價金十五錢●五卷
金十二錢●郵税金四錢宛
此書は新小學校教則大綱の旨意を遵奉して編纂せられたり今や世間算術書の印行充棟管ならずと雖も直ちに採りて以て教授の教案と爲し得らるべき而も懇到周緻なる此書の如き未だ曾て見ざる所なり是れ弊學請ふて之を出版せし所以なり請ふ當路の諸君幸に御閱の榮を賜はらんと

●山田行元先生編

大日本暗射新圖

- 全五軸●正價金六圓也
- 第一帝國總圖 (千島より臺灣迄)
- 第二北 部 北海道全圖
- 第三東 部 本州之壹
- 第四西 部 本州之二
- 第五南 部 臺灣全圖

地理教授に地圖の必要なる言を俟ず然るに尙今日地理教授に用ふる掛圖甚だ乏しきを覺ゆ教育上一大缺點にあらずや弊學並に見る所あり世に益するの目的を以てその編製を山田行元先生に請ふて世に公にしたる所以なり從來先生の著書が如何に有用なりしやは世の知るこころなり今や其の經驗と豊富なる工夫力を以て此新著ある其良書たる言を俟たず請ふ任を教育に當るの諸君用ひて以て教育前途の好果を期せられんことを

●山田行元先生編

萬國暗射新地圖

全六軸●正價金三圓也
本地圖も山田行元先生の編製に依り彩色鮮明表裏堅緻にて教授用地圖に尤も適せり

●總川猪之吉先生立案(專賣特許)

新案暗射黑地圖 日本

全壹軸 縱六尺幅六尺正價金三圓
右黑地圖は總川猪之吉先生が久しく中小學の教育に従事して大に在來の學校用地圖の不完全を慨き多年の辛苦經營に因り發明せられたる古今絶無の良地圖なりなるものを學ぐれば教授用地圖に於ては第一素地を純屬にして地理上の表識を白抜にしたるを以て遠距離よりも鮮明に見えて學生の視力を損ふ憂なし第二全面黑板と同様に白墨も任意に諸表識を書記し又之を拭ひ去るに自在ならしめられたれば教授上の便宜實に莫大なり第二輪廓を除き自餘の諸表識を暗褐色にして其をして近きにある教師にのみ見えて遠きにある生徒には全く見えざらしめて教授のみにくく白墨もて繪取りて分明にすべからしめたり故に夫の普通の地圖の如く諸表識旁午雜錯の弊なく能く正當なる教授法に據りて愉快に教授することを得其一切の事亦た頗る意を用ひたりと雖も今敢て自費せず要するに此

世界地理科教授法の一

大革新を識するものなり

松葉堂書店出版圖書目錄

●白井毅先生校閱
●小林茂理先生著

尋常
小學
作文教授細目

中紙本全二冊正價上下各十八錢郵税金四錢宛
該書は小學校の作文教授用に充つる目的を以て著はされたるものにて荷も此書の順序方法に依りて教授の任に當らねば假令初めて教臺に登る教師諸君も雖も世の教育者が最も至難とせらるる作文教授の目的を達するに於て思半に過ぐるものあるを見ん請ふ一本を備へ著者が作文教授の順序方法に一新生面を開きたるを知り給はんことを

●山形縣尋常師範學校長小濱宗介君序
●山形縣尋常師範學校教諭稻枝俊太郎君序
●山形縣尋常師範學校訓導毛呂百人編纂

實
驗
單
級
小
學
校
管
理
及
教
授
法

洋裝美本全壹冊正價金五十錢●郵税金八錢

●總川猪之吉先生校閱
●岡野英太郎先生編

新
單
級
作
文
教
授
書

洋裝全壹冊●正價金三拾五錢●郵税金八錢

●東京府高等女
學校教員木元平太郎先生畫(校訂)
●檢定濟

小
學
毛
筆
習
畫
帖

橫本全八冊定價金五十二錢郵税金八錢

本帖は適當なる小學校教科用書を得んが爲め特に先生に請ふく世に公にしたる所以なり先生は多年師範學校東京美術學校等に在り斯道教授に於ては頗る經驗と熟練とを有せらるゝも尙ほ以て足れりませず府下各小學校の實験に徴し順序程度を計り需めて高尚に失するを避け而して運筆確實用意周到専ら兒童をして學び易きにあらしむ加ふるに印刷製本の優雅なる他自ら徑庭あるは唯に識者の明を俟つのみ

●伴 德政先生著

ス
ペ
ル
リ
ン
ク
ブ
ック

文部省檢定濟 高等小學校教科用書
尋常中學校教科用書

全壹冊●正價金拾錢●郵税金四錢

松葉堂書店出版圖書目錄

●羽田安政先生編纂
●下森來治先生編纂

三
版
高
等
小
學
補
修
漢
文
軌
範

和装美製全壹冊●正價金拾八錢●郵税金四錢

夫レ學術ニヨリテ需ムベキ智識ハ悉ク文字ノ媒介ヲ借ラザルベカラズ故ニ學術ヲ修メ智識ヲ擴メント欲セバ必ず先ツ讀書力ヲ養フヲ要トス是レ普通教育上讀書課ニ重キヲ置ク所以ナリ然レモ小學校ニ於テ教授スベキ學科ハ頗ル多端ナルヲ以テ現今高等小學讀本ノ如キモ其程度卑近ナラシメテ他ノ諸學科ト並行セシム故ニ高等小學科ヲ卒業セシ者モ其讀書力甚ダ淺薄ニシテ簡易ナル漢文其外新聞ノ論說ノ如キモ之ヲ熟讀シ能ハズシテ日常ニ不便ナルコト世人ノ普ク嘆ズル所ナリ此ニ於テカ本館感スル所アリ諸先生ニ請ヒテ本書ヲ出版シ以テ世ノ希望ニ應ゼントス即チ本書ハ初メ近易ナル漢文ヲ譯シテ片假名交リ文トナシ以テ其原文ト對照セシメ漸次其歩ヲ進メテ簡易ナル漢文ニ入レリ材料ハ諸大家ノ雅馴ナル名文ニシテ倫道ニ裨益アルモノ或ハ極メテ趣味ノ存セルモノノミヲ撰ビ次序難易ヲ正シ知ラズ識ラズ漢文ヲ修讀スルニ至ラシメンコトヲ期ス故ニ本書ハ高等小學四年級高等小學補修科及ビ高等小學卒業生ノ讀本トシテ最も切有益ノモノトス希クハ陸綴採用ノ榮ヲ賜ヘ

●修文館編纂

民
國
修
身
叢
話

全一冊紙數一千ハシ餘●正價金七十錢
●郵税金十六錢

◎本書は小學校修身科の參考用及家庭教育の資料となさんが爲め數名の諸先生に請て編纂せり◎從來の修身的事實を集めたる書籍は事實に誤謬多し本書は盡く原本に據りしを以て決して誤謬なきを證す◎從來の書は極端に塵せたる事實多くして模範に適せず本書は 勸語の聖旨を奉戴し又教育令に依り徳性涵養上適切なるもののみを採り◎從來の書は事實簡單にして脱話の材料となすに足らず本書は決して短き事實を採らず其長きものは十數頁に亘れり◎從來の書は價值なき嘉言を載するを見る本書は古賢先哲の金言及び名歌を撰擇して之を附記せり◎從來の書は世間普通の事實のみを載す本書は勉めて埋没して嘗て世に知れざる珍らしき佳話を載せたり◎本書は各事實毎に設問を附記して教授に便ならしむ◎本書は一人も外人の事蹟を載せず是れ本邦固有の徳性を涵養せんことを欲してなし◎以上は本書の主なる特色なり一讀して其謬言にあらざるを知り給はんことを請ふ

松榮堂書店出版圖書目錄

●清 上海 姚 文棟校訂
●日本東京 石川鴻齋補註

訂校 精註十八史略校本

半紙本全七冊 ●正價金壹圓十錢 ●郵税金廿錢

●曾氏ノ十八史略標註ヲ加フルモノ多シ音釋ニ至ツテハ陳氏ノ舊註有ルノミ故ヲ以テ童蒙ニ解シ難キ者往々コレアリ茲編ハ鴻齋石川先生詳ラカニ音註ヲ加ヘ解シ易ク通シ易キ者ハ盡ク 清人姚文棟先生ニ校正ヲ音註ヲ付シ尙ホ 膠ヲ正シ圖上ニハ諸書ヲ參考シテ出處ヲ明ラカニ諸傳ヲ拔萃シテ本文ヲ助ケ凡ソ怪シムベク疑フベキ處ハ諸家ノ確論及ビ先生ノ考證ヲ加ヘテ師傳ヲ受ズシテ一讀シテ發明セシム史學ニ志ザス諸君此編一部ヲ考究セバ歴史ノ疑惑ヲ氷解シ知識ヲ博メ學力ヲ助ケ誠ニ一大有益ノ良書ナリ願クバ購讀ノ諸君告辭ノ慮ナラサル事ヲ知リタマハ

●淺田耕先生補注

再刻 十八史略讀本

全七冊 木版半紙本美製 ●正價金壹圓 ●郵税金十八錢

松榮堂書店出版圖書目錄

●鴻齋石川英先生精注

精註正續文章軌範

半紙本全六冊 ●特別正價金壹圓 ●郵税金廿錢

●文章軌範世ニ行ハル事久シ而シテ標註ヲ加フルモノ亦少シトス然レモ字義音註文法等ニ至ツテハ師授ヲ受ザレバ其詳カナルヲ知ル能ハズ此編ハ方今文章ノ泰斗ヲ稱スル石川先生平生門人ニ講授スル所ノ原文ヲ乞フテ校訂ヲ加ヘ字義音註及ビ文法ヲ詳カニ載セ頭ニハ古人ノ撰取拾シテ其證ナルモノヲ選ニ尙ホ先人未發ノ新說ヲ掲ゲ舊來ノ誤認ヲ正シタルヲ師ニ從ハズ作者ノ新說ヲ購求シテ鴻齋ナリ玉ハン事ヲ是所ル

●岡 三慶翁講義

續正 文章軌範正解

正續全二冊 ●正價各金廿五錢 ●郵税一冊八錢宛

酒ノ善シ惡シハ酒屋ニ尋ヌルガ儘ナリ事ハ餅屋ニ問クガ儘ナリ如ク古文章ノ意味ノ説キ明シハ文章ニ老練セル先生ノ説ガ一番確カナリ方今海内ノ文章ヲ執ル者ハ岡先生ニ非ラズシテ誰ソ先生常ニ其門下塾生ノ字句ニ拘泥シテ古文ノ眞義ヲ失フ有ルヲ愛ヒ玉ヒ本稿ヲ作爲シ以テ其門生ニ惠投セラレヌ本館幸ニ好縁有リ許サレテ之ヲ世ニ公ニス此書一出セバ即チ文章軌範ノ眞義始テ世ニ

●岡野英太郎先生編

補註 十八史略獨學

全四冊 和裝珍本美製 ●正價金廿八錢 ●郵税金六錢

●柴田方齊先生校閱 (三版) 林 省三先生編輯

插畫 十八史略字類大全

全四冊 中本和裝正價金四拾錢 ●郵税金十二錢

●柴田方齊先生校閱 (再版) 關德 先生 編輯

頭書 十八史略字引大全

中本和裝全二冊正價金廿三錢 ●郵税金六錢

●鹽見文準先生編輯

頭書 日本外史獨學講義

中本全四冊 ●正價金四十錢 ●郵税金十二錢

●原田由己先生校閱 森 昌作先生編輯

續正 文章軌範獨學講義

中本全四冊 ●正價金四十錢 ●郵税金十二錢

本書ハ世間ニ有リフレタル字類又ハ講義ノ類ト違ヒ初學ノ者ヲシテ素讀ノ一助ヲナサシムルガ爲メ頭書ニ本文ノ讀方ニ反リ點及ビ假名ヲ附シ其語ノ通曉シ難キ者ハ一旬毎ニ精細詳密ナル解釋ヲ註シ其用意實ニ深切可憐ニシテ初學ノ人タリトモ此ノ一書ヲ備ヘ置カバ師授ヲ受ケズシテ文章軌範ヲ獨修スルヲ得ベシ特ニ原田由己先生ノ檢閱アリシモノナレバ解釋ノ穩當ナルハ勿論讀方ノ正確ナル意周知且録版ノ鮮明ナルニモ拘ラズ其價ノ低廉ナルヲ藏セラレシトナリ

●土田淡堂先生評註

評註 文章軌範獨學

全四冊 ●特別正價金廿五錢 ●郵税金六錢

支那文學中能クモ文章ノ骨髄文章ノ軌範ヲ集メタルハ謝堂山ノ文章軌範ニ如クモナシ世間註釋書乏シカラズト雖モ未ダ兒童ヲシテ素讀ノ一助ヲ爲スノ書ヲ見ズ故ニ淡初學者ノ爲ニ大ニ勉メタリ

●鹽見 文準 校閱 森 昌作 編輯
●小田切東潭 津田秀林 編輯

音畫松榮堂一書合本

全一冊 絹表紙頗美本 特別正價金一圓
●郵税金十二錢

近年字書ノ類續々出版ナルト雖モ彫刻疎ニシテ誤脱アリ
甚シキハ一回ノ校正ヲモ爲ス唯外觀體裁ヲ飾ルノミ弊備
常ニ此弊ヲ嘆シ先ニ津田君ニ請ヒ新撰早引節用集大全ヲ
編シ東潭小田切先生校正ノ勞ヲ取ラレ刊行以來大方ノ高
評ヲ博シタリ森昌作君弊店ノ懇切ナルヲ好ミシ來リ實用
完備ノ玉篇ヲ編セン事ヲ約シタリキ今ヤ刻成ルニ及ビ鹽
見文準君ニ請フテ校閱ノ榮ヲ得遂ニ帝國會玉編ト名ヅケ
發行スルヲ得タリ然ルニ明社會ニ立ツ諸彦未ダ以テ満足
スル能ハスソフニ冊ニ分テ爾ヲ以テナリト弊舖感ズルア
リ則チ新撰早引節用集大全(字數三萬餘字)帝國會玉篇
(字數四萬餘字)ノ二書ヲ合シ以テ松榮堂版二書合本ト名
ケタリ見ヨ松榮堂版二書合本ハ世ニ有フレタル例ノ文字
ヲ巨大ニシ紙數ヲ多クシ亦ハ西洋紙ニ摺リ厚表紙仕立ト
シ外観ヲ飾ルノミニテ實用ニ適セサル如キ俗本ニ非
ザルナリ其外彫刻ノ綿密用紙ノ善製本ノ注意等迄一々
述ベ盡シ難シ眞ニ綿密丁寧留意到ラザル所ナク恐ラクハ
空前絶後ノ良書ト云フモ亦敢テ過譽ニアラザルベシ

主從心得草

中本全二冊 ●正價金廿五錢 ●郵税金六錢
本書は主從の事を始め凡そ身を修め家を治むる事は學
て盡さるるなく一度此書を會得すれば其の過ちを改め家
内親類の和合は勿論人交りよく家業を怠らず今日を無事
に樂しみ送る事を得べし且つかかな交り文を以て親切に暇
かれたれば何人にも讀み得べき良書なり

發售 秘術製法五百題

倭綴美本全一冊 ●正價金二十錢 ●郵税金四錢
本書は諸物品の製造法を親切に假名交り文を以て細示し
一さして實用に適せざるなく皆な確實なる經驗により實
際施用し得る五百十三種の傳法を集め婦女子にも一讀了
解するを得べき良書にて彼の購着手段の好商賣の出版物
と同一視し給ふなかれ

新一書合本

洋裝美本全一冊 ●正價金三十五錢 ●郵税金六錢
凡ソ一ノ文字ヲ解セント欲セバ先ヅ之ヲ畫リニ求ムベシ
一ノ文章ヲ可カラスト文字知レサルニ必ズ之ヲ伊呂波引
ニ依ラザルニ可カラスト兩者實ニ車輪ノ如シ本卷ハ音畫兩引
本ノ堅ニシテ修メ學生ヲ不便ノ感ナカラシム且ツ字數
ノ多クシテ解釋ノ詳密ナルハ他書ノ遠ク及バサル處ナリ
眞ニ學生必需ノ寶典ナリ

●島田均先生著

名家評點 明治百家文鈔

半紙和全本三冊 ●正價金三十五錢 ●郵税金六錢

●山陰下森來治先生編纂

作文規繩 文法指針

洋裝美本全壹冊 ●正價金拾五錢 ●郵税金四錢

文トハ何ソヤ曰志想ヲ演フ曰法アリヤ曰アリ曰何ニ曰夫
レ文ノ法アル猶兵ニ操縱輪旋アルカ如シ兵ニシテ操縱輪
旋無クハ機ニ臨ミ變ニ應スル何チ以テ之ニ處センヤ法ハ
續指南車ノ如ク羅針ノ如シ深鹿ノ深霧ニ指南車無クハ何
チ以テ當尤チ當ニスルチ得ンヤ萬里ノ航海ニ羅針無クハ
何チ以テ彼港ニ達スルチ得ンヤ是チ以テ世ニ文法書ナル
モノアリテ後生ヲ益セントス今ヤ奎運日ニ進ミ或ハ理想
ニ或ハ巧緻ニ或ハ美妙ニ和漢洋ノ三文アリトイヘ何ニ
カ法ナカラシヤ而シテ之ヲ一揮打成シテ脈ク堂奥ヘ造ル
モノ果シテ幾何ソ山陰氏ノ文法書ハ唯例ヲ和漢ニ採ルト
イヘ凡我中等教育ニ於ル作文ノ指針トシテ學海ノ燈明ト
シテハ之ヲ應用スルニ庶幾ンカ亦以テ一益ノ金剛石ハ眞
容ノ砂礫ニ勝ルコトヲ引證ス該博ニシテ的切ナル我曹
ノ言ヲ須タス

●巖谷一六先生題字
●石川鴻齋先生編輯

清國名臣文粹

和全本二冊 ●正價金三十錢 ●郵税金八錢

該書ハ清國名臣○曾國藩○李鴻章○丁汝昌○朱克敏○左
宗棠○徐承祖○張裕釗○郭嵩壽○沈葆楨○李榕○蔣瑄○
愈樾○李元度○廖運城○舒化民○林則徐○姚鼎○恭親王
○等ノ名文數十編ヲ集メタルモノナリ漢文ヲ學ブ諸君
ハ一本ヲ購フテ座右ノ友トナセ

●原善先生著 (第五版)
●東條耕先生著

先哲叢談

前後合本全二冊 ●正價金三十錢 ●郵税金十錢

●宇喜田小十郎先生校正
●風月莊左衛門先生編輯

校正 增字文選字引

中本全一冊 ●正價金二十錢 ●郵税金四錢

松榮堂書店出版圖書目錄

堀越浪雄先生著

論說 中等作文五千題

中本全一册●正價金廿五錢●郵税金八錢

軍事 軍人文範

美本全一册●正價金三十五錢●郵税金十錢

普通教育 用文獨案内

中本全一册●正價金二十五錢●郵税金八錢

活用自在 用文五千題

中本全一册●正價金二十五錢●郵税金八錢

論說 中等作文軌範

全一册●正價金三十五錢●郵税金十二錢

河原英吉先生編輯

新詩語粹金幼學詩韻

小本全二册●正價金四十錢●郵税金六錢

活用自在 新編作詩必携

中本全四册●正價金三十錢●郵税金六錢

書家必用

山崎美成先生著

書家錦囊

中本全一册●正價金十七錢●郵税金四錢

假名讀十四經

中本全三册●正價金廿三錢●郵税金六錢

松榮堂書店出版圖書目錄

山陰下森子來先生編纂
淡溪內藤信敏先生編纂

中等教育 習文教科書

全一册●正價金四十錢●郵税金十二錢

山陰下森子來先生校閱
淡溪內藤信敏先生編纂

和文 名家尺牘文例

菊版美製●全一册●正價金廿錢●郵税金六錢

山陰下森先生校閱
內藤淡溪先生編纂

頭書類語 名家作文例題

菊版美製●全一册●正價金廿錢●郵税金六錢

論說 中等作文教科書

洋裝美本全一册●正價金四十錢●郵税金十錢

田中敬三先生編輯
小田切東潭先生書

萬類活用 有益用文

全一册木版半紙本美製●正價金廿八錢

國民新用文

全一册木版半紙本美製●正價金廿八錢

開化小學 女日用文例

半紙本全一册正價金三十錢●郵税金八錢

往復自在 貴女用文五千題

首書女訓玉手匣●附小笠原諸禮式入

錄目書圖版出店書堂榮松

●鹽見文進先生校閱●森昌作先生編輯

●龍頭 帝國會玉編

●全壹册薄葉摺美製●正價金五十錢●郵税金六錢
●津田秀林先生編輯

●大成會玉編

●全壹册薄葉摺美製●正價金三十錢●郵税金四錢
●堀中東洲先生著

●無類 東京新玉編

●全壹册小本薄葉摺仕立●正價金貳拾錢
●郵税金貳錢
●小田切東潭校正●津田秀林編輯

●新早引節用集大全

●全壹册薄葉摺美本●正價金五十五錢
●郵税金六錢
●服部 權先生著

●二體 東京節用集

●全壹册薄葉摺仕立●正價金二十錢●郵税金貳錢

●堀中東洲先生著

●新類 明治玉編

●全壹册●正價金十七錢●郵税金六錢
●上原佐一郎先生編輯

●古今 大全明治用文

●全二册大版和製半紙美本●正價金六十五錢
●郵税金十錢
●堀越浪雄先生著

●記事 中等國文五千題

●全壹册活版美本●正價金四十錢●郵税金十錢
●堀中東洲先生編

●頭書 帝國普通用文

●全壹册活版美本●正價金十錢●郵税金四錢
●大草常章先生著

●普通 實地活用文章

●全壹册木版和製●正價金八錢●郵税金四錢

錄目書圖版出店書堂榮松

●岡 三慶先生講義

●大學講義

●中本和裝美本●正價金十五錢●郵税金四錢
●名倉熙二郎校正

●榮花物語

●全二册活版洋裝美本●正價金六十錢
●郵税金十四錢
●石原和三郎先生編

●百人一首註解

●全壹册活版洋裝美本●正價金拾二錢●郵税金二錢
●長谷川善左衛門閱●伊藤定太編

●普通 算法自在

●全二册木版和裝美本●正價金十八錢●郵税金六錢
●鹽見文準先生編

●實地 蠶事新說

●全壹册活版洋裝美本●正價金十八錢●郵税金四錢

●成田三千郎編纂(文部省檢定濟)

●尋常小學習字手本

●美本全八册●定價金二拾九錢●郵税金十六錢
●成田三千郎編纂
●香川松石書(文部省檢定濟)

●高等小學習字手本

●美本全八册●定價金四十三錢●郵税金十六錢
●卷 菱湖先生書

●真草千字文

●全壹册大字和製●正價金廿八錢●郵税金六錢
●河村墨稼先生書

●龍頭 十體千字文

●全壹册活版美本和裝●正價金十三錢●郵税金貳錢
●切齒扼腕樓主人著

●慷慨 劍舞獨稽古

●全壹册活版小本洋裝●正價金五錢●郵税金貳錢

錄目書圖版出店書堂榮松

●長戶守彦先生編輯

讀史廣益玉編

和裝全壹册●正價金四拾五錢●郵税金六錢
青蓋居士編

日本書畫人名辭書

●美本全貳册●正價金七拾錢●郵税金拾四錢
●稿 謙藏先生編

新體日本小史

●美本全壹册●正價金二拾二錢●郵税金八錢
●稿 謙藏先生編

新體日本小地誌

●洋裝全壹册●正價金二十錢●郵税金六錢
●小宮寬制先生製圖

學校用長野縣地圖

●美本全壹册●正價金貳拾五錢●郵税金八錢

●星文館々主禮々齋先生著

人間生禮 秘奧活術 九星獨案内

●美本全三册●正價金八拾錢●郵税金貳拾錢
●新井白蛾先生著

頭易學小筌

●和裝美本全壹册●正價金拾五錢●郵税金四錢
●翠雲深處主人編

作詩作文法指南

●洋裝美本全壹册●正價金拾錢●郵税金四錢
●翠雲深處主人編

和歌俳諧作法指南

●洋裝美本全壹册●正價金拾錢●郵税金四錢
●孤月庵一嘯編

遠州流插花之葉

●和裝美本全壹册●正價金三拾錢●郵税金六錢

錄目書圖版出店書堂榮松

●香川松石先生書

眞書千字文

●美本全一册●正價金廿五錢●郵税金四錢
●香川松石先生書

行書千字文

●美本全壹册●正價金廿五錢●郵税金四錢
●香川松石先生書

草書千字文

●美本全壹册●正價金廿五錢●郵税金四錢
●研堂星孛先生選輯

草書格

●和裝美本全參册●正價金四拾錢●郵税金拾錢
●竹窓森川先生書

草行集

●和裝美本全四册●正價金參拾錢●郵税金八錢

●長戶賴母先生著

家相方位指南

●美本全參册●正價金拾五錢●郵税金四錢
●講史會編纂

古老遺筆

●洋裝美本全壹册●正價金廿五錢●郵税金六錢
●鹽見文準先生編

實地中等作文獨案内

●和裝美本全壹册●正價金廿八錢●郵税金六錢
●堂上堂京雜編

豐臣秀吉

●洋裝美本全壹册●正價金拾貳錢●郵税金四錢
●櫻洲樓主人編

古今明細年代記

●折本全壹册●正價金五錢●郵税金貳錢

明治塵劫記大全

和裝美本全參册 ● 正價金八拾五錢 ● 郵税金拾貳錢
● 福田理軒先生著述
● 花井靜先生校正

新編二一天作

和裝全壹册 ● 正價金參拾參錢 ● 郵税金六錢
● 千野光亨先生編
● 香川松石先生書

小學日用文

和裝美本全一册 ● 正價金拾錢 ● 郵税金貳錢
● 永井浩先生編
● 卷 菱澤先生書

小學女用文章

新撰數學例題

和全三册 ● 正價金七拾五錢 ● 郵税金拾四錢
● 石阪清長先生校閱
● 千葉千一先生編纂

新撰數學例題解式

和本全一册 ● 正價金廿五錢 ● 郵税金六錢
● 總川猪之吉先生著

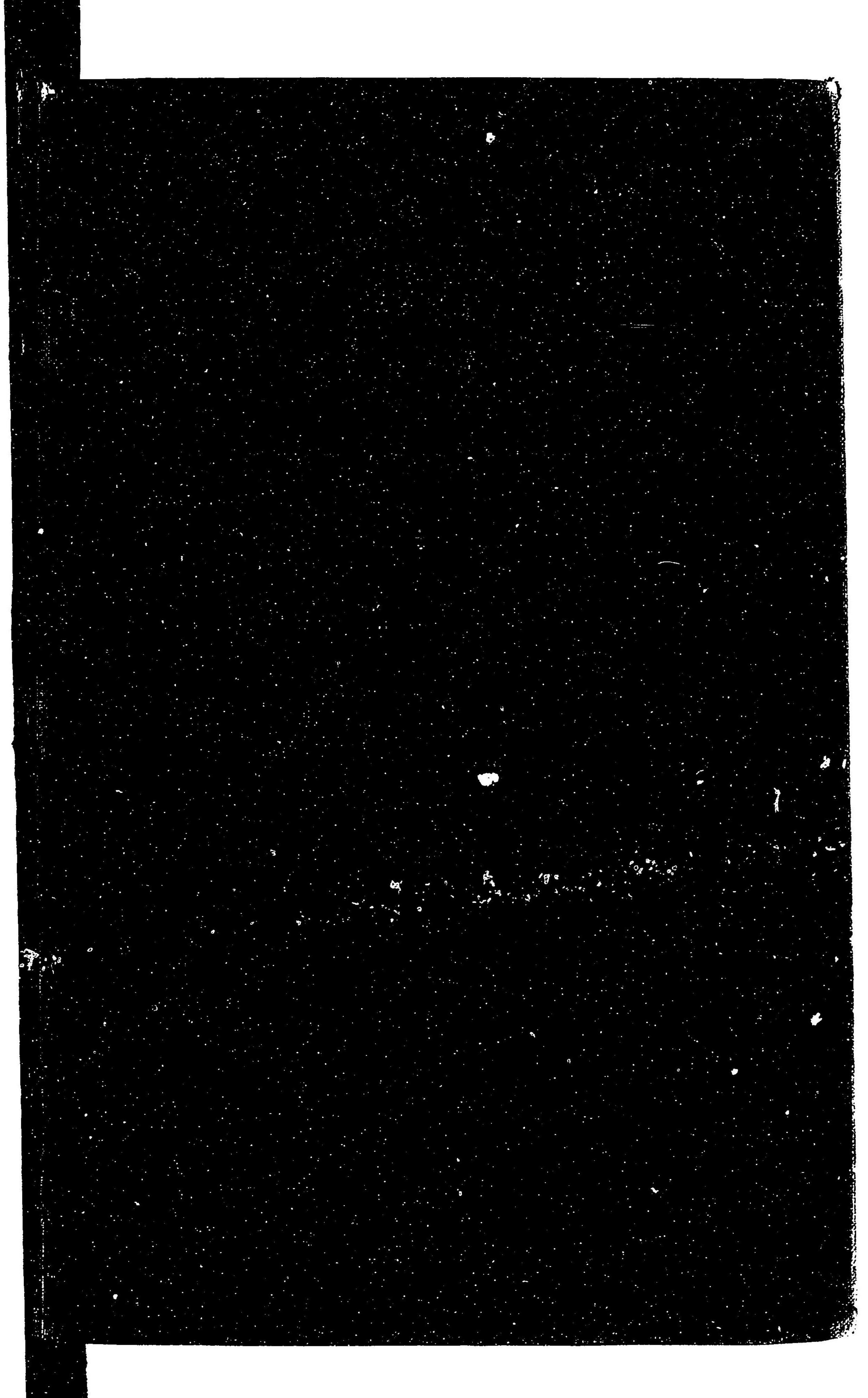
算術問題解法指針

全一册 ● 正價金廿錢 ● 郵税金四錢
● 萩原乙彦先生補編

漢語二重字引

252.5

2.



252.5
2

046103-000-9

252.5-2

兒童心理学講義

松本 孝次郎/著

M31

BEB-0045



